

「考えること」と「伝えること」 ～意見発表大会～

11月19日（土）に実施した第41回文化祭では、各学年の代表による意見発表大会が行われました。文化祭に向けて、生徒全員がそれぞれ自分の意見をまとめ、選ばれた代表生徒3名が文化祭当日にステージで全校生を前に発表しました。

学年	氏名	題名
1年	新居 知己	「命を守る大切さ」
2年	本庄 直之	「礼儀作法の本格化」
3年	足立 朋哉	「勉強の大切さ」

また、10月にライフピアいちじまで行われた「丹波市青少年の主張大会」においても、2年生の竹村さんがしっかりとした意見を発表し、さすが高校生という高い評価をいただきました。その時の様子は丹波新聞にも取り上げてもらいました。

2年	竹村 歩華	「思うこと」
----	-------	--------

（丹波新聞から抜粋）

「氷上西高2年の竹村さんは、自分が暮らす青垣地域の人口減少に触れ、進学し、将来は好きな地元に戻ってきたいと故郷への思いを語った。」



自分の意見をまとめて、それをたくさんの人前で発表するという活動は、きわめて高度な学習活動です。

意見をまとめるためには、しっかりと考えなければなりません。日頃感じていることや漠然と思っていることは、文章にすることによって初めて自分の「考え」として形になります。そして、それを他の人に理解してもらえるように伝えなければなりません。

このように意見発表には、「現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）」、「新しい価値を生み出す力（創造力）」、「自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）」が必要です。これらはどれも社会に出て仕事をする上で必要になる能力です。

自分にはちょっとむずかしいかなと思うことや、今までにやったことがないのでちょっと不安だなと思うことに挑戦することで、自分の中に秘めた力を発揮しましょう。3年間でいろいろなことに挑戦することで、自分自身を大きく成長させることができます。

**「成功」の反対は「失敗」ではなく、「何もしないこと」。
「不可能」の反対は、「可能」ではない。「挑戦」だ。**

（校長 高橋信之）